

平成24年6月13日

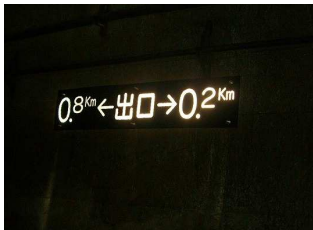
石勝線列車脱線火災事故から1年間の主な取り組みについて

平成23年5月27日に石勝線清風山信号場構内第1ニニウトンネルで発生させた列車脱線火災事故から1年が経過しました。これまで実施してきた主な取り組みは、以下のとおりです。

1. 避難誘導に関する設備の整備状況（平成24年5月31日現在）

(1) 地上設備

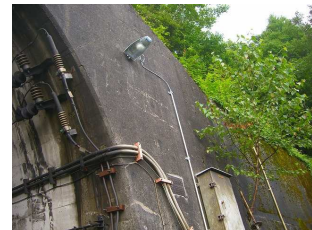
項目	対象数	完了数	付記
ア. トンネル距離標の追加設置及び明瞭化	80 トンネル	80 トンネル	○長さ 500m 以上の未設置トンネルが対象（設置間隔は 250m）
イ. トンネル内照明スイッチ位置標の明瞭化	126 トンネル	126 トンネル	○照明設備のあるトンネルが対象
ウ. トンネル出入口照明の設置	126 トンネル	105 トンネル	○照明設備のあるトンネルが対象 ○未完了箇所はローカル線であり、平成24年8月完成予定
エ. トンネル内照明の自動スイッチ化			



(ア. トンネル距離標)



(イ. 照明スイッチ位置標)



(ウ. トンネル出入口照明)

(2) 車両設備

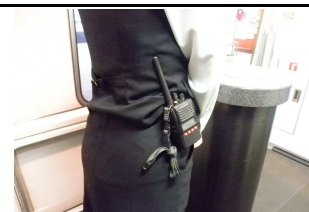
項目	対象数	完了数	付記
ア. 非常灯の増備	336両	336両	全ての特急車両に4個/両増備
イ. 避難はしごの搭載	116両	116両	特急車両の全先頭車
	194両	194両	ワンマン車両の全車両
	8両	0両	○時速 100km 以上で 500m 以上のトンネルを走行する気動車の先頭車両を対象（H24.5.14付 運輸局通達） ○未完了車両は設置箇所を検討中であり、平成24年9月完成予定
ウ. 客室乗務員連絡用無線機の配備	31両	31両	客室乗務員が乗車する車掌室に配備



(ア. 非常灯)



(イ. 特急車両用避難はしご)



(ウ. 連絡用無線機)

2. 避難誘導に関する教育訓練の実施状況（平成24年5月31日現在）

（1）総合訓練（本社・支社主催）

① 平成23年度

- 訓練内容 : 現車をトンネル内で緊急停止させ、乗務員等が車両外及びトンネル外までお客様の避難誘導を実施
- 実施回数 : 8回
- 延べ参加人数 : 約1,300名（消防・警察等含まない）
- 参加職場 : 本社・支社計画部門社員、附属機関社員、各現業機関社員

② 平成24年度

- 訓練内容 : 現車をトンネル内で緊急停止させ、乗務員等が車両外及びトンネル外までお客様の避難誘導を実施
- 実施回数 : 1回
- 延べ参加人数 : 約200名（消防・警察等含まない）
- 参加職場 : 本社・支社計画部門社員、附属機関社員、各現業機関社員
グループ会社社員

（2）現業機関等での訓練

① 平成23年度

- 訓練内容 : 乗務員、指令員等が、運転所等において、現車を使用した避難誘導等に関する訓練を実施
- 実施回数 : 13回
- 延べ参加人数 : 約1,800名
- 参加職場 : 運輸現業機関、運行管理センター、客室乗務員センター、等

② 平成24年度

- 訓練内容 : 駅社員、工務社員が、避難はしご設置や非常用車内設備の使用に関する訓練を実施
- 実施回数 : 5回
- 延べ参加人数 : 約200名
- 参加職場 : 営業現業機関、工務現業機関

3. 膝詰め対話の実施状況（平成24年5月31日現在）

（1）実施時期・箇所数

- ・実施時期 : 平成23年11月22日から随時実施（現在2順目を実施中）
- ・実施箇所 : 約200箇所（計画部門を含む）

（2）参加人数

- ・延べ参加人数 : 約2,700名

（3）社員からの主な意見

- ・経験豊富なベテラン社員が退職しても技術継承は大丈夫なのか。
- ・膝詰め対話の中で出た社員の意見については、必ず検討内容も含め回答してほしい。
- ・技術力向上や予防保全等、具体的な取り組み項目や達成目標を設定すべきではないのか。